

## 上野地区まちづくり推進について

### 1 背景・目的

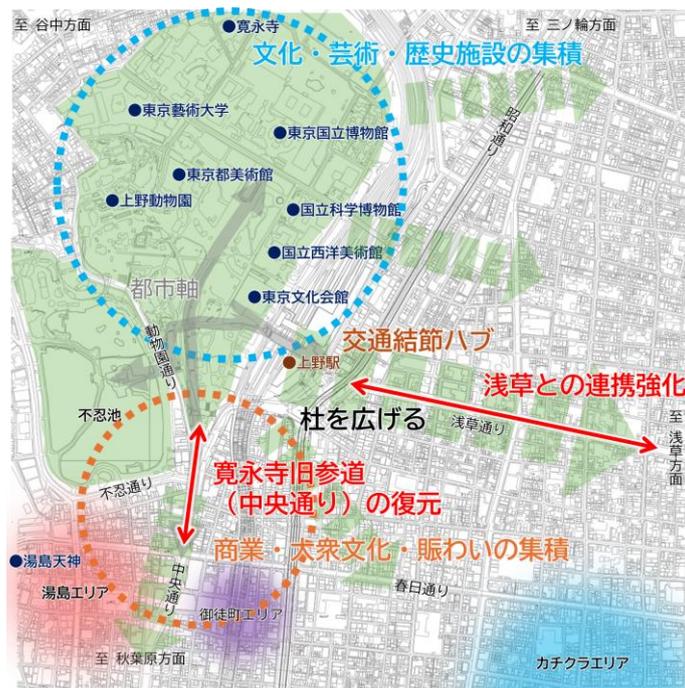
上野地区まちづくりビジョン（以下「ビジョン」という）に掲げる 2040 年代頃の上野の将来像実現に向けて、上野地区の都市空間の再編やウォーカブルなまちづくりの推進に取り組むことにより、上野地区の価値や魅力の更なる向上を図り、国際競争力の強化や持続的な発展につなげていく。

### 2 令和 7 年度の主な取組

#### (1) 上野地区の都市空間の再編に向けた取組

国際競争力の強化に向け、関係者と共に以下の 3 つの視点を整理し、上野地区まちづくりビジョン推進会議(以下「ビジョン推進会議」という)において、それらの視点や令和 9 年に都市空間の再編の方向性の発表を目指すといった今後の進め方について、関係者と共有した。

- 視点① 杜をひろげる—グリーンインフラ・エコロジカルネットワークの形成
- 視点② 杜をひろげる—駅を起点としたひと中心の空間・ウォーカブルまちづくり
- 視点③ 都市軸の強化・広域圏における都市再生



3つの視点のイメージ（第6回上野地区まちづくりビジョン推進会議資料より抜粋）



上野駅周辺の歩行者ネットワークのイメージ例※（第6回上野地区まちづくりビジョン推進会議資料より抜粋）  
 ※歩行者ネットワークのイメージ例は、今後、ビジョン推進会議での議論や関係者との協議調整により検討を深度化するものであり、決定したものではない。

## (2) ウォーカブルなまちづくりの推進に向けた取組

ウォーカブルな都市空間への転換を目指し、杜とまちを繋ぐ中央通り、不忍通り、パンダ橋において、地元団体等と連携し、道路空間等の将来像や活用ルール等の検討に繋げる社会実験を実施した。

上野恩賜公園と鶯谷駅南口を結ぶ台第62号線については、基本設計をもとに関係機関等と協議・調整に取り組んできた。引き続き、それらを丁寧に行っていくため、令和7年度実施予定の道路詳細設計は実施時期の見直しを行い、今後は、関係機関等の協議・調整の状況を踏まえながら対応していく。

**実施日：10月18日(土)、19日(日)**  
 主催：しのばずいけまち研究会  
 共催：区、元黒門町会、池之端仲町商店会

**実施日：10月24日(金)～26日(日)**  
 主催：上野中央通り商店会  
 後援：区、JR

**実施日：11月2日(日)**  
 主催：上野まちづくり協議会  
 共催：区

**中央通り**  
 社会実験イベント  
 『上野広小路ヒロバ化社会実験』

**不忍通り**  
 社会実験イベント  
 『不忍通り社会実験』

**パンダ橋**  
 社会実験イベント  
 『パンダ橋活用社会実験』

車両通行止め区間

令和7年度の社会実験の実施箇所

### (3)地域主体のまちづくり活動の推進に向けた取組

パブリックスペース等を利活用した魅力づくりや居心地の良い空間の創出の更なる推進に向け、まちづくり団体等(約50人)と活動の現状や課題、今後の取組の方向性について意見交換を実施した。それらを踏まえ、地域主体のまちづくり活動を下支えするための仕組みや体制、活動内容の検討に取り組んだ。

## 3 令和8年度の主な取組

### (1)上野地区の都市空間の再編に向けた取組

上野恩賜公園と上野駅、まちを繋ぐ歩行者ネットワークの拡充に向けた駅周辺における都市基盤の検討や駐車施設の配置・規模の適正化等に資する駐車場地域ルールの策定に向けた検討に取り組むとともに、国際競争力の強化に資する機能誘導方策の検討を進め、上野地区の都市空間の再編につなげる。

### (2)ウォークアブルなまちづくりの推進に向けた取組

中央通り、不忍通り、パンダ橋において、地域の方々等と連携しながら、社会実験を踏まえた将来像の検討や活用ルールの策定等に取り組み、ひと中心の空間への転換や利活用の推進を図る。

### (3)上野版エリアプラットフォームの構築に向けた取組

地域の方々为主体となったまちづくり活動の更なる推進に向け、地域の個人、団体、事業者等の活動を下支えする公民学連携による上野版エリアプラットフォームの構築を目指す。

## 4 予算額(案)

歳入 10,000千円

歳出 277,920千円